

みなみしんじゅう

南信州神社まいる

南・中央アルプスに挟まれて天竜川が育んだ伊那谷と呼ばれる地域。名所は高遠の桜や天竜川の舟下り。珍味（蜂の子、ざざ虫、蚕、イナゴ等）をつまみに伊那のローメン、駒ヶ根ソースかつ丼で腹ごしらえ。遠山郷の霜月祭り、大鹿歌舞伎、飯田の大名行列、新野の雪祭りなど祭りを楽しむならこの地域。



南信

【津嶋神社】

つしまじんじや

▼鎮座 上伊那郡宮田村三三二四



例祭（七月）は宮田村祇園祭とも称され、勇壮な「あばれ神輿」で知られる。町内巡幸を終えた神輿を、石段から幾度も投げ落とし柱一本になるまで破壊する天下の奇祭。

▼御朱印対応

宮司が常駐していない為、事前押印したものを社頭で頒布



【矢彦神社】

やひこじんじや



▼鎮座 上伊那郡辰野町大字小野三二六七



皇室から厚く崇敬され、天賜材式年造宮神社と称される。社殿は辰野町の飛地塩尻市北小野に在り、小野神社（塩尻市）と隣接し、森は共有している。諏訪大社御柱祭の翌年、式年遷座祭・御柱大祭が斎行される。

▼御朱印対応

社務所に神職が居る時のみ受付



南信州神社まいる①

【大宮五十鈴神社】

おおみやいすずじんじや



▼鎮座 駒ヶ根市赤穂二八二七



創立は応神天皇三十九年（三〇八）、明治に里の八社を合祀。秋分の日に行われる花火「三国一煙火」は圧巻。

▼御朱印対応

要予約 宮司宅で対応

☎〇二六五（八二）六八八一



【春近神社】

はるちかじんじや

試験合格の春近し！

▼鎮座 伊那市東春近七三九三



宝暦十年（一七六〇）建立の本殿は、現存する入母屋造りの神殿としては県内最古。例祭（十月）には女兒による「春近神楽」が奉納される。

▼御朱印対応

宮司が常駐していない為、事前押印したものを社頭で頒布



18

【梅戸神社】

うめとじんじや



▼鎮座 上伊那郡飯島町飯島二四三四



桃山時代より梅戸の宮と号した。明治元年、伊那県庁が置かれ初代県知事北小路俊昌卿は梅戸神社と改めた。献幣使参向指定神社。

▼御朱印対応

社務所に神職が居る時のみ受付（年末年始、祭典時など）



しょうはちまんぐう
【正八幡宮】**㊦**



▼鎮座 飯田市上村七五四
国指定重要無形民俗文化財「遠山の霜月祭」を最も古い形で伝える神社。映画『千と千尋の神隠し』の発案モデルとも。

▼御朱印対応

宮司が常駐していない為、事前押印したものを社頭で頒布



南信

おのみやすわじんじや
【大宮諏訪神社】**㊦**



▼鎮座 飯田市宮の前四一六四・一
創建は、建御名方神がこの地に立ち寄ったことによる。御柱祭の年に行われる「お練り祭り」は伊那谷一円の大祭礼として有名。

▼御朱印対応

毎月一日の午前中と春秋大祭時のみ社務所で受付



こうどはちまんぐう
【郊戸八幡宮】**㊦**



▼鎮座 飯田市今宮町四・六二〇七
平安後期、郡戸（後に郊戸）庄五郷の総鎮守。秋季祭典奉納煙火大三国は華麗で、御輿のきおいは勇壮である。

▼御朱印対応

宮司が常駐していない為、境内の宮守（今宮半平）で頒布



南信州神社まじり

あちじんじや
【阿智神社】**㊦**



▼鎮座 下伊那郡阿智村昼神
前宮と奥宮がある。七年に一度の式年降臨祭では、ご祭神が御降臨になったという故事に基づき奥宮より前宮への御渡りを行う。

▼御朱印対応

宮司が常駐していない為、神社参道口温泉旅館「みさか」にて頒布



ふじやまいなりにんじや
【富士山稻荷神社】**㊦**



▼鎮座 飯田市浜井町三三六三
慶長六年（一六〇一）小笠原兵部大夫秀政がこの地に封じられた際、城の鬼門に当たる破魔射場の富士山に鎮護神として稲荷大神を併せ祀ったとされる。

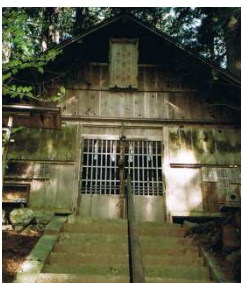
▼御朱印対応

随時、社務所で受付（祭事等で対応できない場合もある）



19

おおひやしんじや
【大平神社】（通称 頭権現）



▼鎮座 下伊那郡阿智村智里
武田信豊公の髑髏を奉り頭権現として世に知られ、頭の守護神と崇敬されている。

▼御朱印対応

要予約。宮司宅にて受付
☎〇二六五（四三）二四八七

